



kakaku.com



Credit Saison Co., Ltd.

2017年2月3日  
株式会社デジタルガレージ  
株式会社カカコム  
株式会社クレディセゾン

## NEWS RELEASE

# デジタルガレージ、ブロックチェーン技術を手がける Blockstream 社と 次世代プラットフォーム技術の共同開発について基本合意

～カカコム、クレディセゾンとポイントなど様々なバリューの交換や地域マネー等の開発を加速～

株式会社デジタルガレージ（東証一部 4819、本社：東京都渋谷区、代表取締役 兼 社長執行役員グループ CEO：林 郁、以下：DG）は、ブロックチェーン関連技術の開発を手がける Blockstream Corp.（本社：カナダ・モントリオール、CEO：Adam Back、以下：Blockstream 社）と、ブロックチェーン技術を活用した次世代プラットフォームの共同開発や、日本市場向けのプロダクト開発について基本合意しました。Blockstream 社は、ビットコインそのものの開発を手がけてきた第一線級のエンジニアが数多く所属し、ブロックチェーンを様々な用途で利用するための先進的なイノベーションを行っていることで知られています。DG は 2016 年 2 月に投資子会社を通じ、Blockstream 社に出資しています。

今回の基本合意に基づき DG は、2016 年 7 月に株式会社カカコム（東証一部 2371、本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：畑 彰之介、以下：カカコム）、株式会社クレディセゾン（東証一部 8253、本社：東京都豊島区、代表取締役社長：林野 宏、以下：クレディセゾン）と共同で設立したオープンイノベーション型の研究開発組織「DG Lab」において、ブロックチェーン技術を用いたプロダクト開発を加速します。

「DG はビットコインと次世代のブロックチェーン技術について慎重に分析し、これらの新しい技術が DG とそのパートナー企業ひいては日本市場に及ぼす役割について、事業面と技術面の両方から理解を深めてきました。DG Lab を通じて DG が、日本の決済市場や金融市場の革新をリードしていくことを期待しています」（Blockstream 社 CEO の Adam Back 氏）。



Blockstream



Digital Garage

今後 DG Lab は、Blockstream 社が開発したブロックチェーンの拡張技術である「サイドチェーン」を利用し、日本市場に向けた新たなプロダクトの開発を行っていきます。具体的には、他の重点カテゴリである「AI」や「セキュリティ」等の技術も組み合わせ、以下の開発を推進しています。

- 1) クレジットカード等のポイントや、電子マネー・プリペイド等のバリュー、仮想通貨などの「リアルタイム交換システム」
- 2) 地域経済の活性化において、最も重要である域内小売への定量的送客マーケティング機能や、消費者のメリットを重視した「地域マネーシステム」
- 3) 金融商品等の契約及びその執行を自動化する「スマートコントラクトシステム」

DG Lab は、最も高いセキュリティレベルと堅牢さを備えることが実証されている、ビットコインのベースに使われているブロックチェーン技術の応用に注力しています。本合意に基づき、DG Lab のブロックチェーンのエンジニアチームを Blockstream 社の拠点であるサンフランシスコに派遣し、数ヶ月にわたり Blockstream 社のエンジニアと、「Elements」と呼ぶオープンソースのブロックチェーン基盤の共同研究開発を実施します。成果物であるこれらのプロダクトは、DG Lab や DG Lab ファンドの参画企業、業務提携先企業などを通じた市場展開を

## NEWS RELEASE

企図しています。既に DG Lab は、これらの試作版の開発の一部着手しており、最新のブロックチェーン技術の動向を常に見据えながら、こうした技術の事業化に向けた実用的なプロダクト開発を推進する準備を整えています。

DG および DG Lab は Blockstream 社とのこうした共同研究開発を通じ、ビットコインだけでなく今後ブロックチェーンの応用が期待されるデジタル資産の安全かつ低コストでの循環を可能にする社会基盤の構築を目指します。また、DG Lab のエンジニアはビットコインやブロックチェーンのコアとなるオープンソース開発にも引き続き積極的に貢献していきます。

「ビットコインや Elements プロジェクトのような、オープンソースプロジェクトにエンジニアが貢献することで、DG Lab がブロックチェーン技術の発展を日本市場で牽引することを期待しています。既に DG Lab のエンジニアは、グローバルな金融市場にインパクトを与えるベースレイヤーのオープンソース開発に貢献を始めるほど技術力をつけ始めました。Blockstream 社の技術は、インターネットにおける TCP/IP のように、ブロックチェーンを利用した社会基盤のプロトコルとして重要な役割を担うようになるかと信じています。伊藤穰一や Reid Hoffman 氏と共に Blockstream 社と、より良い未来を創っていくことを楽しみにしています」(DG 代表取締役 兼 社長執行役員グループ CEO の林 郁)。

<参考資料>

### Blockchainで実現を目指すDG Labのソリューション

